

登録コード	E7177400	開講年度	2026					担当教員	徳井 厚子
授業科目	卒業研究							副担当	
英文授業名	Graduation Study							対象学生	4年
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期			備考	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目			
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】			
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ								
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					異文化間教育の専門家に求められる深い教養に根差した公共的使命感や倫理観を身につける			
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					異文化間教育の教育活動を支え、実現する上で必要な専門的知識・技能を身につけ論文を作成する力を身につける			
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	卒業論文について、文献調査方法を学ぶとともに、テーマの設定、調査方法、分析方法を学び論文を作成する。								
(5)授業計画	第 1 回：卒業論文とは何か 第 2 回：これまでの卒業論文に関する文献調査 第 3 回：文献調査法 第 4 回：テーマの設定 第 5 回：テーマの再検討 第 6 回：先行研究の文献調査 第 7 回：調査方法の検討 第 8 回：調査方法の再検討 第 9 回：データの整理 第10回：データの分析 第11回：データの再分析 第12回：考察 第13回：再考察 第14回：プレゼンテーションの準備 第15回：まとめ 授業アンケートの実施								
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・授業のねらい から の到達度を測る卒論の完成度 100% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。								
(7)成績評価の基準	テーマの設定が的確である 先行研究について丹念に調べている 適切な調査方法で調査がなされている 調査結果を深く考察しオリジナリティを出している 2 項目までできれば「合格水準にある」3 項目までできれば「やや上にある」4 項目までできていれば「かなり上にある」								
(8)事前事後学習の内容	毎回、授業後に振り返りシートを渡します。授業で学んだことについてまとめ、次の授業の最初に提出すること。振り返りシートは以下の観点に留意してまとめること。1) 授業の内容をふまえること 2) 授業から自身がどのように考えたか明確にかくこと 3) 多文化社会への課題と関連させること								
(9)履修上の注意	授業前に提示した課題を考えておくこと。レポートは期限を守ってください。引用した文献がある場合は (HPも含めて) 必ずその引用元を明記すること。								
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メールアドレス tokuias@shinshu-u.ac.jp								
【教科書】	指示しない								
【参考文献】	適宜指示する								